

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書

(平成29年度)

園名 ( りんでん認定こども園 )

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○外部講師を招き茶道などの指導を実施し、日本の伝統文化に触れる機会を大切に行っている。幼児期の子どもの発達特性に応じた保育を今後も期待したい。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○運動場での鬼遊びでは、集団での遊びを通して発達につながる学び（よく見る、よく聴く等）がうまく成立している。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○子どもたちに「自分もできた」という自信を持たせるために、様々な工夫を重ねて作品作りなどに取り組んでいる。
IV	小学校との連携	○保幼小連絡会に参加している。 ○学校一日体験、緑が丘小学校との交流会（給食体験、運動会参加）などで連携を図っている。 ○情報交換会には、校長、園長、主任、担任が参加し、連携を図っている。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○入園説明会や進級児説明会で保護者に冊子を配布し、具体的に説明を行っている。 ○運動会や発表会の園長あいさつ時に説明を盛り込んだり、参観日に担任が話をしたりするなど、機会をとらえて説明することで浸透を図っている。 ○毎月の「園だより」に園の取組や子どもの様子などを記載し、保護者に配布している。
VI	職員の資質向上のための取組	○キャリアアップ研修や新人研修など、経験年数や年齢別、内容別に研修へ参加することで資質向上に取り組んでいる。
VII	安全管理	○登降園の安全対策として、登降園管理システムの試験的運用を開始している。 ○園庭遊具の不具合の有無を毎日点検チェックし、事故や怪我の防止、詳細報告の徹底

		に努めるようにしている。
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<p>○在宅幼児を小学校教育へ円滑に移行させるため、わくわく幼稚園（3歳児以上2時間保育）や園庭開放（土曜日）など、園の施設を利用した取組を実施している。</p> <p>○親子学級、三木金物祭りへの参加、はばたきの丘夏祭りでの5歳児鼓笛隊発表、交通安全キャンペーンでのお守り配布など、地域との交流に取り組んでいる。</p>
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	○三木ヤクルト工場祭や秋の交通安全キャンペーンに鼓笛隊が出演するなど、地域との連携を図っている。